

伊達市立図書館に関する提言

平成26年3月28日

伊達市立図書館運営協力会

(別 紙)

伊達市立図書館に関する提言書

【はじめに】

私ども伊達市立図書館運営協力会は平成19年度の設立以来、新築・改築増床も視野に入れたハード面や「図書館の民営化・指定管理者制度の導入」を含めた図書館運営に関わるソフト面についての検討・意見交換、市民の生の声を聞くためのアンケートの実施とその分析等々を行い様々な角度から論議を深めそれぞれ提言をしてまいりました。

また、この間、先進地域図書館の視察研修や登別市立図書館長の講演、「中央教育審議会の提言」や「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学大臣)「公立図書館の任務と目標」(日本図書館協会)等についての学習会なども実施してまいりました。

今年度は、伊達市立図書館の現状や課題、そして、公立図書館としての本来的な使命や在り方などについての全般的な話し合いと共に、具体的な課題として、①伊達市立図書館の運営について、②「伊達市子どもの読書活動推進計画」(案)についての検討を行い、意見を述べてきました。

「市民に開かれ、市民に親しまれ、市民に愛される図書館」を目標にしている伊達市立図書館が一層充実し、今後ますます「市民の知の宝庫」としての使命を果たしていくことを願い、次のとおり提言いたします。

1、伊達市立図書館の現状や課題などについて

- ・祝祭日の開館、開館時間の延長を検討して欲しい。
- ・図書館活動(各種行事等)の市民向けアピールの一層の充実を図って欲しい。(特に地域文庫活動など)
- ・図書館に足を運べない高齢者、障がい者のために地域文庫活動の一層の充実を図って欲しい。
- ・子ども読書活動の活性化のためには学校図書館との連携を深めることが重要と思われる。

2、伊達市立図書館の運営について

◎図書館増改築は運営協力会発足以来の要望事項であり、最大の懸案であったので、是非実現を期していただきたい。

- ・玄関を広くし、外靴のまま入館できるようには出来ないか。
- ・まず、「たくさんの人が集まれる図書館」「サロンの図書館」を目指すべき。
- ・ロビーを広くし、ミニコンサートなどにも活用して欲しい。
- ・子ども(児童書)と大人(一般図書)のコーナーを完全分離し、親子づれでものびのび出来るスペースが欲しい。
- ・談話コーナー、軽食コーナー、視聴覚障がい者用のコーナー、インターネット環境なども考えていただきたい。
- ・インターネットコーナーは個室対応にして欲しい。
- ・今後は、障がい者・高齢者・乳幼児・親子連れ等の受け入れのため、図書館職員だけでは対応できなくなるので、ボランティアの増員や活発化が一層求められる。同時にスペースが広くなり、たくさんの人が集まるとセキュリティという面での検討も必要である。

3、「伊達市子どもの読書活動推進計画」(案)について

- ◎「子どもの読書活動の推進に関する法律」「北海道子どもの読書活動の推進計画【第三次計画】」などを参考資料とし、「伊達市子どもの読書活動推進計画」(案)について検討いたしました。
- ・目的から始まり、各分野における具体的な推進策まで、遺漏なく非常に丁寧に構成されている。
- ・反面、膨大な量になり、「読書活動推進計画」としては適切だが、市民への周知の面ではなかなか読んでもらえないという心配がある。
- ・具体性のある緻密な推進計画になっているので、是非「絵に描いた餅」にせず、地道に実現を期していただきたい。

【おわりに】

以上3項目について提言いたしました。これらの提言内容を参考に、「伊達市立図書館増改築基本構想」、「伊達市子どもの読書活動推進計画」(案)をまとめられ、市民の皆様へ提示し、一日も早い具体化を推進していただくことを希望いたします。

伊達市立図書館が「伊達市民の知の宝庫」としての機能を十分に発揮し、より一層市民に開かれ、親しまれ、愛される図書館になるよう期待して止みません。